

会報

明石のぼうさい

編集発行/明石防火協会(明石市消防本部予防課内)
 〒673-0044 明石市藤江924番地の8
 TEL(078)918-5272 FAX(078)918-5983
 ホームページアドレス: http://www.akashi-bouka.jp/

平成二十九年明石市消防出初式



一月八日(日)午前十時から市民会館大ホールで明石市消防出初式が挙行されました。工場部会二十二事業所七十二名の方が式典に参加されました。今年はいよいよの荒天で、アトラクション、消防救助隊による演技、消防署・消防団による放水演習は中止となり、時間を繰り上げて式典のみの開催となりました。

なお、式典では防火対象物の火災予防に多大な成果を挙げた事業所並びに永年にわたり火災予防に尽力し、その功労が顕著な事業所が表彰されました。

【表彰事業所は次のとおりです】

- 〔防火管理優良事業所〕
- 阪神内燃機工業株式会社 明石工場
- 株式会社 錦江ビル
- 株式会社 人丸花壇
- 医療法人社団佳生会 野木病院

平成二十八年十二月二十二日、新潟県糸魚川市の木造建築物が密集した地域で大規模な火災が発生し、火元から海岸までの住宅や店舗など百四十七棟が延焼しました。

明石市においても昭和二十四年二月二十日に桜町、魚の棚など広範囲に渡り延焼し甚大な被害を受けた「明石大火」が発生しており、この様な大火災が二度と起こらないよう明石市民の防火意識の高揚と災害の絶無を願い、当協会は設立五十周年を迎えた平成九年に防火ブロンズ像を明石市に寄贈しました。

防火ブロンズ像は、銀座通りの北側の植込みに設置されています。



明石防火協会の思い

平成28年 火災・救急の統計

平成28年中における明石市内で発生した火災・救急の概要がまとめられました。
 平成28年中の火災件数は70件、死者4名、負傷者10名となりました。

火災の概要

●前年度の比較(件数)

区分	平成28年	平成27年
建物	45	37
林野	0	0
車両	2	1
船舶	0	0
その他	23	13
合計	70	51

●出火原因(件数)

区分	平成28年	平成27年
放火(含疑)	17	6
こんろ	11	9
ストーブ	1	3
たばこ	7	4
排気管	0	1
電気機器	10	5
切・溶断機	3	2
火遊び	2	3
マッチ・ライター	1	3
灯火	1	1
火入れ	2	2
その他	12	7
不明・調査中	3	5
合計	70	51

救急の概要

●前年度の比較(出動件数)

区分	平成28年	平成27年
急病	8,825	8,201
一般負傷	2,292	2,177
交通事故	1,148	1,184
自損行為	135	131
加害	83	94
労災	63	71
火災	51	48
運動競技	80	80
水難	16	15
自然災害	0	0
転院搬送	1,276	1,141
医師搬送	0	0
その他	400	279
合計	14,369	13,421

火災出動件数は70件(+19件)、死者4人(+2人)、負傷者10人(-1人)でした。建物火災45件、車両火災2件、その他の火災23件となっています。出火原因は、放火・放火の疑いが17件で最も多く、こんろが11件、たばこが7件発生しています。今後も警察や地域の方々と連携し「放火されにくい町づくり」を作っていく必要があります。救急件数は14,369件(+948件)、救急搬送人員は12,342人(+926人)と過去最多を記録しています。救急搬送人員のうち、軽症者が6,214人、中等症者が5,444人、重症者が491人、死亡者が193人となっています。また、65歳以上の高齢者が7,086人搬送され、搬送人員の半数以上を占めています。事故種別で一番多いのは、急病8,825件、次に一般負傷2,292件、転院搬送1,276件となっております。

平成二十九年 春季火災予防運動

春季全国火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として毎年、消防記念日を最終とする一週間に実施しています。

防火標語 「消しよう」

その火その時 その場所で

実施期間 平成二十九年 三月一日(水)～三月七日(火)

実施要領

〔重点目標〕

- 住宅防火対策の推進
- 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- 放火火災防止対策の推進
- 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- 林野火災予防対策の推進

〔推進項目〕

- ①住宅防火対策の推進
 - ア 住宅用火災警報器の設置の徹底、適切な維持管理の必要性、方法等の具体的な広報及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の推進
 - イ 住宅用消火器を始めとした住宅用防災機器等の普及推進
 - ウ たばこ火災に係る注意喚起広報の実施
 - エ 防火用品の周知及び普及促進
 - オ 消防団・婦人防火クラブ及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動の推進
 - カ 地域の実情に即した広報の実施
 - キ 高齢者等の要配慮者の把握や安全対策に重点を置いた死者発生防止対策の推進
 - ク 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
 - ク 延焼拡大危険性の高い地域を中心とした火災予防対策や警戒の徹底
 - イ 火災予防広報の実施
- ②多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
 - ア 催しを主催する者に対する指導
 - イ ガソリン等の貯蔵・取扱いに対する指導
 - ウ 火気器具を使用する屋台等への指導
 - エ 照明器具の取扱いに係る指導
- ③放火火災防止対策の推進
 - ア 放火火災に対する地域の対応力の向上
 - イ パチンコ店及び物品販売店舗における放火火災防止対策の徹底
 - ウ 効果的な放火火災被害の軽減対策の実施
- ④特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - ア 防火管理体制の充実
 - イ 避難施設等及び老朽化消火器を始めとする消防用設備等の維持管理の徹底
 - ウ 防火物品の使用の徹底及び防災製品の使用の促進
 - エ 防火対象物定期点検報告制度及び防災管理点検報告制度の周知徹底
 - オ 違反のある防火対象物に対する是正指導の推進
 - カ ホテル・旅館等における防火安全対策の徹底
 - キ 表示制度及び公表制度の取組の推進
 - ク 高齢者や障がい者等が同居する小規模福祉施設における防火安全対策の徹底
 - ケ 有床診療所・病院等における防火安全対策の徹底
- ⑤製品火災の発生防止に向けた取組の推進
 - ア 製品の適切な使用・維持管理及び製品火災に関する注意情報の周知徹底
 - ⑥多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
 - ア 催しを主催する者に対する指導
 - イ ガソリン等の貯蔵・取扱いに対する指導
 - ウ 火気器具を使用する屋台等への指導
 - エ 照明器具の取扱いに係る指導
 - ⑦林野火災予防対策の推進
 - ア 林野周辺住民、入山者等の防火意識の高揚
 - イ 火災警報発令中における火の使用制限の徹底
 - ウ 火入れに際しての手続き等の徹底
 - エ 林野所有者等に対する林野火災予防措置の指導の強化

平成28年度 防火ポスター展



大久保北中学校 2年 稲山 莉乃碧



福田保育園 年長 服部 英翔



花園小学校 1年 石見 奈月



二見中学校 3年 吉本 楓



林小学校 6年 村上 愛



大久保北中学校 1年 稲田 竜己



防火協会恒例の主催行事として火災予防運動啓発用ポスターの募集を呼びかけたところ、市内の園児から中学生まで七百九十四名の応募がありました。審査は、十月四日(火)に行われ、朝比奈会長ほか六名の審査員により左記の方々が明石市長賞ほか各賞に選出されました。

出初を写そう!! 写真コンテスト



「出初の日」 武田 治



「敬礼出来るかな」 中島 奉文



「一致団結」 明野 敏行



「このポーズで」 清瀬 進



作品の展示
期間:平成29年2月14日(火)~3月20日(月)まで
場所:防災センター1階



「敬礼する子ども消防隊員」 仙石 一夫



工場部会と危険物部会の合同による視察研修が平成二十八年十一月十七日(木)に実施されました。二星工場部会長、碓武危険物部会長以下二十一名の部会員がご多忙中参加されました。今回の視察研修先は、姫路市にある姫路大阪ガスエネルギー館で、ライフレインの主軸を担うガス事業について様々な角度より視察することができました。製造所及び近畿二府四県の地域に張り巡らされているパイプライン設備を含めた、ソフト・ハード両安全対策ネットワークについて学ぶことができました。同時に天然資源を取扱う企業として、地球環境問題にも積極的に取



工場・危険物部会合同視察研修

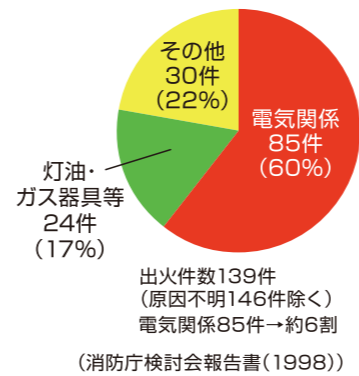


り組む企業理念を見ることができました。限りある資源を大切に、有効かつ安全に取り扱う姿勢は、石油系危険物を取扱う部会員の方々の気持ちに響いたことと思います。質疑応答の時間では、多くの部会員の方から質問が飛び交い、本視察に対する関心の高さを感じることができました。

地震時の電気火災を防ぐ 感震ブレーカー

感震ブレーカーとは、地震を感じると自動的にブレーカーを落として電気を止め、地震による電気火災を防いでくれるものです。阪神淡路大震災、東日本大震災では、電気器具の転倒などによる火災や停電後の電気復旧時に通電火災が多発しました。阪神淡路大震災では出火件数の6割、東日本大震災では6割強の原因が電気起因するものでした。震災時の火災対策に感震ブレーカーは大変有効であると考えられます。

【阪神・淡路大震災】



【東日本大震災】

